

相談支援機関の連携・協働のための研修

地域の相談支援現場では、生活困窮、障がい、虐待、孤立など、複数の問題が絡み合う「複合問題」への対応が求められています。こうしたケースに向き合うには、問題を構成する要素の関係性やバランスを捉え、総合的に「見立てる」視点が不可欠です。本研修では、ソーシャルワークにおけるニーズ論を手がかりに、複合的な課題へのアプローチを考察します。

また、複合問題への支援には、相談支援機関同士が専門性を持ち寄り、連携・協働して対応する体制づくりが重要です。事例を通して、実践的な連携・協働のあり方を学び、相談員としての支援力の向上をめざします。

【日 時】令和8年2月17日(火)午前10時～午後4時30分

【講 師】龍谷大学 社会学部 総合社会学科 教授 樽井 康彦

【会 場】大阪市社会福祉研修・情報センター 5階 大会議室

【対 象 者】◆大阪市内の相談支援機関に勤務する相談員(経験年数概ね5年以下)

地域包括支援センター、ブランチ、区障がい者基幹相談支援センター、

地域活動支援センター(生活支援型)、生活困窮者自立相談支援窓口、

見守り相談室等の相談員 等

【定 員】36人(申込多数の場合は抽選) 【受 講 料】3,000円

【申込方法】FAXまたはホームページからお申し込みください

【申込締切】令和8年1月21日(水)午後5時まで

【受講決定】1月下旬、事業所あてに発送(郵送)します

【問合わせ】大阪市社会福祉研修・情報センター

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

電話 06-4392-8201

FAX 06-4392-8272



研修内容

講義とグループワーク

<講義>

「複合問題に対するアセスメントの視点」

<事例検討>

「地域における複合的課題を抱える家族への支援事例」



FAX: 06-4392-8272 締切: 令和8年1月21日(水)午後5時まで

法人名			事業所名		
種別	右の番号	①高齢者福祉関係 ④生活保護施設	②障がい児・者福祉関係 ⑤その他()	③保育・児童福祉関係	
事業所	〒			連絡先	電話 FAX
受講希望者 (ふりがなも必ずご記入ください)		相談業務経験年数 (R8.2.1現在)	年齢	職種番号	
ふりがな		年	歳	右の番号	①相談職・支援職 ②介護支援専門員 ③介護職 ④保育士 ⑤保健師・看護師 ⑥事務職・管理職 ⑦その他()
事前 アンケート	複合的な課題を抱えるケースを連携・協働して支援するうえで困ったことや講師への質問がありましたらご記入ください。				
備考欄	手話通訳、拡大文字資料が必要な方は、その旨をご記入ください。				

*提供していただきました個人情報につきましては、名簿の作成、資料の送付等研修事業の運営のためにのみ使用し、他の目的で使用したり、

第三者へ提供したりすることはありません。